

### 吉見町 宮崎町長のこあいさつ

本日は、令和5年度の「NPO法人フードバンクよしみ・かわじま」の通常総会が、多くの委員の皆様のおかげのもと、開催できますこと、心からお祝い申し上げます。新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中、混乱するウクライナ情勢に端を発した原油価格・物価高騰等により、市民の生活や地域経済に大きな影響をおよぼしています。このような中、食品ロスに貢献し、食品を必要としている方々に食品支援をしていただき、ありがとうございますことを改めて敬意を表します。

皆様が行っていただいている活動は、生活困窮者の暮らしを支え、地域における居守りや支えあい活動の充実につながる大変重要な活動であります。

当町におきましても、令和3年度より、第六次吉見町総合振興計画の将来像を「未来へつなぐ みんなで安心して暮らせるまち よしみ 20年先へ

### 吉見町 大澤教育長のこあいさつ

日頃より、町の教育行政にご理解とご協力をいただいておりますことに、厚く感謝を申し上げます。また、食品ロスを有効活用し、フードバンク活動に取り組んでおられることは、社会的課題に対する真摯なお取り組みであると認識をいたしておりますと同時に、ここに敬意と感謝を重ねて申し上げる次第であります。

さて、人類の脅威は「飢饉・疫病・紛争」の三つだと評されています。人類の進化とともにこうした課題は、すべて克服されたかのように錯覚をしているわたくしたちがいます。食糧問題、新たな感染症への不安、国と国との紛争、今まさに三つの脅威にさらされながら、日々刻々と変

### 吉見町 新井社会福祉協議会会長のこあいさつ

皆様は、平素から、社会福祉協議会の事業に対し、特段のご支援・ご協力をいただいておりますことに、厚くお礼を申し上げます。特に、今年度の2月に社協で実施したフードパントリーでは、皆様ご食品の提供から当日の配布・運営に至るまで、多大なるご協力をいただき、ととも、その後の定期的な食料支援により、多くの住民の方々に寄り添い、地域福祉を支える活動となっていることに、心から感謝を申し上げます。

さて、昨年来のウクライナ情勢により世界的な食糧危機が続いています。国内でも様々な食品の値上がり続き、暮らしは益々厳しさを増しています。そのような社会情勢においても、本来安全に食べられる食品が大量に廃棄される状況が続いており、食品ロスの削減と食料支援が必要な社会課題となっています。2020年度の統計では、日本の食品ロスは年間約522万トン、一

### 川島町 飯島町長(社会福祉協議会会長)、関口教育長のメッセージ

NPO法人フードバンクよしみ・かわじま通常総会の開催に当たり、心よりお祝い申し上げます。公務のため出席することができず、メッセージという形でお祝いの気持ちを届かせていただきます。

さて、フードバンクは、食品ロスの削減とともに、生活困窮者への食糧支援という社会的な側面も有する大変意義のある活動であり、近頃では「SDGs」への取り組みが広がり、フードバンクに対する社会的関心が高まってきております。そのような状況において、NPO法人フードバンクよしみ・かわじまの皆様が「食のセーフネット」として支援が必要な方に寄り添い、活動を継続推進されてきたことを、改めて、心より敬意を表します。

世界を見渡してみますと、戦争や内戦などで「食のセーフティネット」が失われ

ている地域が多くあります。日本においてもコロナ禍(物価高騰)の影響で日々の食べ物にも事欠く方が増加している中、「もったいないをありがとう」に変える皆様の種が、今後も人と人をつなぎ、お互いを助け合う食のサイクルとなりますことを期待しております。また、川島町では、資源やエネルギーの消費をできる限り減らし、ごみを限りなくゼロに近くことを目標に、食品ロスを減らし、ごみ処理問題に取り組んでいるところでございます。将来にわたって誰もが安心して暮らせる町を創っていくという変わらぬ想いで、まちづくりを進めてまいりますので、皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、NPO法人フードバンクよしみ・かわじまのご発展とご協会の皆様のご活躍を祈念申し上げ、お祝いのメッセージとさせていただきます。

結びに、NPO法人フードバンクよしみ・かわじまの限りのご発展とご協会の皆様のご活躍を祈念申し上げ、お祝いのメッセージとさせていただきます。

化する世界がリアルタイムで目の前に展開されています。

そうした中で、フードバンクよしみ・かわじまの取組は、食の安心を確保して、人と人をつなぐ貴重な活動であると認識を新たにしたところでございます。また、教育委員会といたしましても、食育教育を推進する立場から、今後の貴会の活動がさらに充実・発展されますことを大いにご期待を申し上げます。

結びに、フードバンクよしみ・かわじまのさらなるご発展とご協会の皆様方のご健勝を衷心よりご祈念を申し上げ、通常総会のご挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

## NPO法人 フードバンクよしみ・かわじま

第26号 2023年6月15日発行

(愛称 フードバンクあおぞら)



# NPO法人フードバンクよしみ・かわじま 第3回通常総会を開催しました。

5月17日(水) 13時から14時  
吉見町・西部ふれあいセンター

## 議案は承認されました。

総会には、実出席19名、書面議決21名の40名が参加しました。

2022年度活動報告と決算、2023年度計画と予算について全会一致で承認されました。

吉見町からは、宮崎町長、大澤教育長、新井社協会長に、ご来賓としてお越しいただき、私たちフードバンクの活動を励ましてくださいました。

川島町からは、飯島町長(社協会長)、関口教育長連名のメッセージを頂戴しました。

## フードバンク立ち上げから 丸2年が経過しました。



吉見町宮崎町長こあいさつ



吉見町大澤教育長こあいさつ

フードバンクは、品質は何ら問題のないものの、やむなく廃棄されてしまう食品を無償で提供を受け、支援を必要としている家庭や福祉分野の施設、団体に必要な食品を寄贈し、食べられる食品を有効に活用する活動です。

設立2年目の2022年度は、食品の取扱量を高めるために活動の趣旨に賛同いただける町民、企業・団体を広げていくことに努めてきました。

## 取り扱い食品総量は 12.3トンに

「食品を集める」という点では、町内食品企業、学校、団体の協力による継続的な食品提供、フードドライブの開催、常設箱の設置、また一般家庭からの食品寄付の活動・フードドライブを29回おこなってきました。これらの活動により、取り扱い食品総量は12.3トンとなりました。

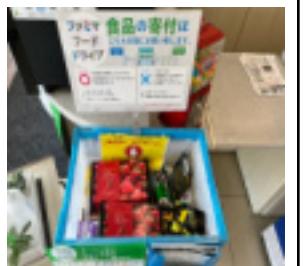
## 11回開催したフードパントリーには、 490世帯が利用



「食品を届ける」という点では、無料の食品配布活動・フードパントリーを11回開催し、延べ490世帯が利用しました。また、毎月「食品提供依頼」49世帯(3月現在)に食品をお届けしています。

## 2023年度は、常設箱設置場所を積極的に広げていきます。

食品配布活動・フードパントリーに参加する世帯が増加しています。一方で食品の値上げが続き、食品寄付が減少する不安もあります。ふだんの暮らしに困っているご家庭に食品を届けることができよう、活動の趣旨に賛同いただける町民、企業・団体をさらに広げていきます。とりわけ、常設箱設置場所を増やすことに力を入れていきます。



## 2022年度活動計算書

I 経常収益計	401,074円
会費 寄付金等	183,074円
助成金	218,000円
II 経常費用計	437,291円
人件費	0円
その他の経費	437,291円
III. 経常外費用(減価償却費)	45,433円
前期正味財産増減額①	219,447円
次期繰上越財産額(Ⅰ-Ⅱ-Ⅲ+①)	137,797円